

管内概要

1 位置

当管内は、富士川広域流域に属し、県の南西部に位置する東西約30km、南北約50kmにわたる区域で、行政区域は西八代郡の市川三郷町及び南巨摩郡の富士川町、早川町、身延町、南部町の4町におよんでいる。

2 地勢

当管内は、甲府盆地に接する平坦な北部地域を除くと、大部分が富士川流域の川筋に集落が点存する山間地で急峻な地形の山岳地域である。

3 地質

当管内は、糸魚川－静岡構造線が、大きな地質構造線として富士川西方にほぼ南北に通っており、構造線を境に分布する地質を東西に二分している。

構造線の西側においては、砂岩・粘板岩を主とする白亜紀の小仏層群や古第三紀の瀬戸川層群が、構造線に沿って帯状に分布し、県境をなす急峻な山脈をつくっている。

一方、構造線の東側においては、新第三紀の火山碎屑岩類・砂岩・泥岩・礫岩を主とする地質が複雑に分布する。北部では火山碎屑岩類を主とする御坂層群が、中南部では砂岩・泥岩・礫岩を主とする富士川層群が、それぞれ広く分布している。

4 気象

年平均気温12～15℃、年間降水量は1,700mm～2,600mmであるが、地域差は大きい。南部の地域は温暖多雨で、県下で最もスギ、ヒノキの生育に適した気候条件となっているが、中部以北の地域は気温、雨量とも県平均をやや上回っているものの、冬期の気温変化が激しい地域となっている。

また、早川に沿う地域は、概して冷涼多雨である。

5 林況

行政区域面積は105,999haで、このうち森林面積は91,183haを占め、森林率は86%であり、森林率が県下で最も高い行政区域となっている。県有林が31,758ha(35%)、民有林(県有林を除く、以下同じ)が56,677ha(62%)、国有林が2,747ha(3%)となっている。人工林の樹種別内訳は、スギ31%、ヒノキ39%、アカマツ7%、カラマツ19%であり、スギ、ヒノキの占有率が70%と他の区域に比べ高い比率となっている。

6 その他

防災面での峡南地域は、東海地震をはじめ釜無川断層地震や富士山噴火などによる災害発生の危険性が指摘されている。当地域は地質が脆弱で山間地域の集落が多く、大規模災害が発生した場合、主要道路等が寸断され孤立集落の発生等、多大な災害を受けることが懸念されており、その対策強化が課題となっている。

行政区域面積及び森林面積

市町村	区分	行政区域面積 (ha)	森林面積 (ha)				森林比率 (%)
			民有林	県有林	国有林	総数	
市川三郷町		7,518	4,114	604	59	4,776	63.53
早川町		36,996	18,502	16,614	147	35,264	95.32
身延町		30,198	16,934	7,080	305	24,319	80.53
南部町		20,087	12,823	2,587	2,219	17,629	87.76
富士川町		11,200	4,304	4,873	17	9,195	82.10
管内合計		105,999	56,677	31,758	2,747	91,183	86.02

出典：H30年度版山梨県林業統計書
 ※市川三郷町、早川町、富士川町の総数は
 端数処理により合計値と合わない

円グラフ記載

- ・管内林地分布
- ・民有林の面積及び蓄積
- ・県有林の面積及び蓄積

